2024 年度 市民自然観察会「街中ジオ散歩」のご案内

―豊平川扇状地の「サッポロ川」の痕跡をたどる―

【主催：北海道自然保護協会、協力：地図と鉱石の:山の手博物館】

札幌の街は、母なる川豊平川の 1 万年以上前からの営みによりできた大地（豊平川扇状地）に位置しています。「街中ジオ散歩」では、市民の皆さんとともに豊平川扇状地を作った古い河川「サッポロ川」の痕跡をたどり、札幌の生い立ちを探ります。

今年度は以下の要領で 3 回開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

・第1回目　2024 年 6 月 1 日(土)　「北海道大学構内とアイヌコタン」（終了しました）
・第2回目　2024 年 8 月 3 日(土)「北海道大学植物園」（受付を開始します）
・第3回目　2024 年 10 月 5 日(土)「知事公館」
　案内人：　川の案内人：宮坂省吾（株式会社アイピー　地質情報室）
　　樹の案内人：矢部和夫（札幌市立大学　名誉教授）
　　石の案内人：内山幸二（山の手博物館　館長）

集合・解散時間：各回とも、集合は午前 10 時、解散は午後 3 時。
定員：20 名（申し込み順）　昼食・飲物持参。**植物園内には売店・食堂等はありません。**
雨天の対応：小雨時は実施します。小雨の場合は、傘・雨靴・敷物などを用意してください。
　　中止の場合は、当日午前 7～8 時に電話連絡します。
参加費：各回　2,000 円(会員は 1,000 円、保険代・資料代を含む)。
　　別途植物園の入園料が掛かります（回数券使用、高校生以上 370 円)。
申込先：北海道自然保護協会　事務所（電話　011-876-8546、メール　info@nc-hokkaido.or.jp）
申込受付：先着順、受付は1ヶ月前から3日前まで。
　　氏名・年齢・性別・住所・連絡先　を添えて、　上記にお申し込み　ください。
問い合せ・連絡先：宮坂省吾（メール galant@cronos.ocn.ne.jp、携帯 090-3892-3293）
新型コロナ感染対策に留意願います。当日朝は各自で体温をチェックし、発熱時は参加自粛をお願いします。
熱中症対策として、随時塩分・水分補給などをお願いします。

[観察地点②]　温室前に残る古サッポロ川の地形。 写真右側に扇状地面があり、古サッポロ川により造られた氾濫原。湧泉川・チェプンペッ川は扇状地面より2m以上も低い凹地を流れていた。

[観察地点⑤]　旧伊藤邸東の川跡。 開拓使時代のはじめ、東本願寺の脇から道庁を廻って植物園の北でチェプンペッ川に合流する川があった。その川は旧伊藤邸の敷地の南を東西に流れており、チェプンペッ川の本流にあたると考えられる。

第２回 街中ジオ散歩 「北海道大学植物園」

日時：　2024 年 8 月 3 日 (土)

集合：北大植物園前 （北区北 2 条西 8 丁目） 10:00

午前の部（10:15～13:45）：昔流れていた植物園の２本の川のほか、古い川の地形について解説。ロックガーデンや建物の石材のほか、樹木・水草についても解説します。

＜昼食は園内の適地＞

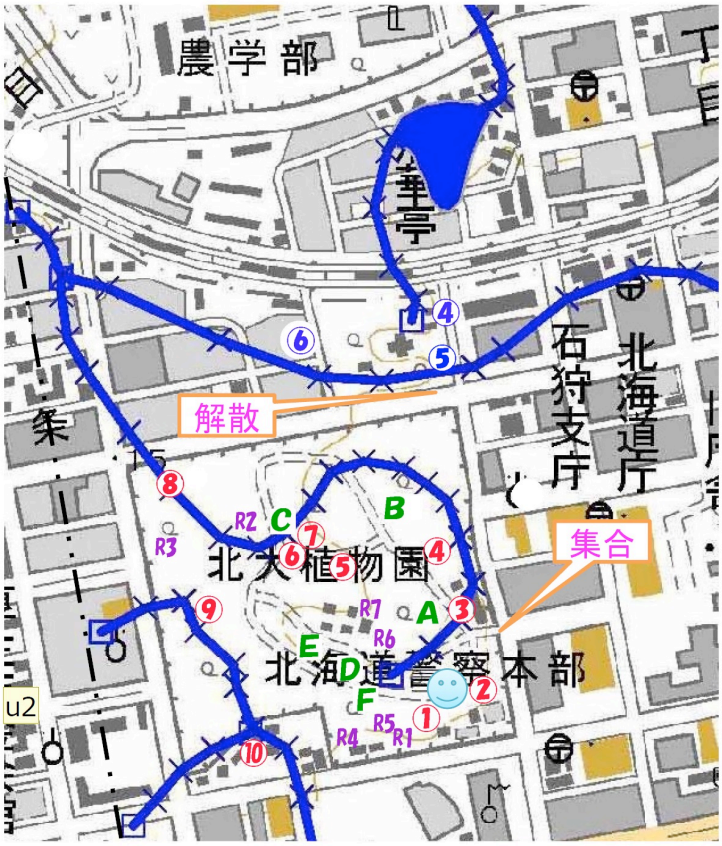
午後の部（14:00～14:45）：旧伊藤邸のメム跡、そして植物園の北を流れていたもう１本の川跡を辿ります。開拓使時代の栗の木についても紹介します。

解散：旧伊藤邸前（北区北 5 条西 8 丁目） 15:00

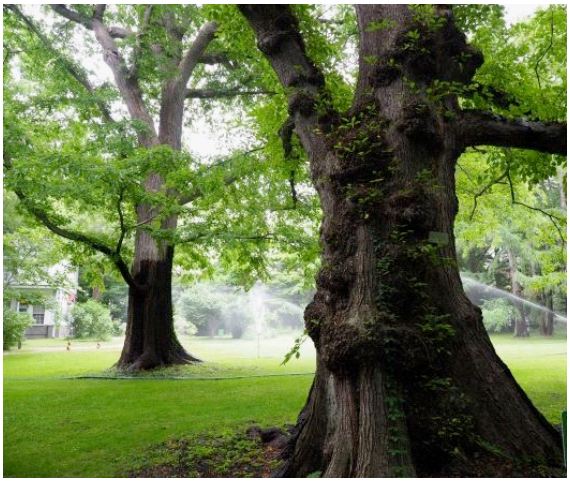
街中ジオ散歩「北大植物園」観察地点（青線はかつての河川流路）

集合：北大植物園前　10:00
①：ピシクシメムの跡（宮坂）
　R1：札幌軟石で造られた氷室（内山）
②：古サッポロ川とチェプンペツ川の地形
③：チェプンペツ川の川岸（宮坂）
　A：オヒョウとハルニレ（矢部）
④：古サッポロ川の自然堤防（宮坂）
　B：オオモミジとヤマモミジ（矢部）
⑤：チェプンペツ川の跡（湿生園：矢部）
⑥⑦：古サッポロ川の地形（宮坂）
⑧：チェプンペツ川の跡（幽庭湖）（宮坂）
　C：ミズナラとブナ（矢部）
　R2：宮様御手植えの樹の縁石（内山）
⑨：もう一本の川（シンノシケコトニ川）の河岸（宮坂）
　R3：環状列石？（内山）
⑩：二本の川は蛇行切断？（宮坂）
　R4：カナディアンロックガーデン（内山）
　R5：高山植物園（ロックガーデン）（内山）
　昼食　12:00～13:00
　D：ヨーロッパトウヒとアカエゾマツ（矢部）
　E：クロビイタヤとイタヤカエデ（矢部）
　F：カラマツとグイマツ（矢部）
　R6：博物館本館の基礎（内山）
　R7：博物館事務所の基礎（内山）
④⑤：チェプンペツ川本流とメムの跡（宮坂）
⑥：伊藤邸西の川跡凹地（宮坂）
解散：旧伊藤邸前 15:00

地図は国土地理院「地理院地図」、川筋は「明治4年及5年札幌之図」による。



①～⑩：植物園　ジオ番号　A～F：樹番号　R1～R7:石番号
④～⑥：チェプンペツ川本流　ジオ番号



[観察地点A] オヒョウとハルニレはニレ科ニレ属の在来種。オヒョウは葉先が3-7個に分かれるが、写真のハルニレは葉先がとがる。太さ1.5 m、高さ30 m、300才生きるメムの木。エルムはこの木。

[観察地点R5] 高山植物園(ロックガーデン)。 大雪山系トムラウシ岳の八合目付近を模した造園。小樽市張碓の大小の「張碓石」を3000個積み上げて造成したという。